

# No. 1343

## 街に緑を

都市化が進むにつれて減少していく緑。10月は都市緑化月間。いま「都市に緑と公園を」をテーマに全国で種々な催しが行われています。東京足立区では区民を対象とした植木市が10月6.7日の両日行われました。あいにくの雨にもかかわらず、約3000人が訪れました。特設会場となった竹の塚公園広場には約2万点の植木や草花が並べられました。人気を呼んだのは土と球根の無料配布。ひとりバケツ一杯と少ない量だが都会に生活している人々にとってはなかなか手に入らない貴重なもの。思い思いの容器に入れて持ち帰っていました。球根はチューリップと水仙。用意された2千個はたちまちからっぽ。区内の緑をテーマに行われた写真コンクール。このコンクールは毎年行われているもので今年の応募者は1000人、この日優秀な作品30点が表彰されました。私たちにやすらぎとゆとりを与えてくれる緑。緑に囲まれた健康で快適な環境づくりをめざしたいものです。

五つ子

## 元気に運動会

10月9日、東京大田区に住む山下頼充さん紀子さん夫妻の五つ子ちゃんが運動会に参加しました。五人にとって運動会のはじめの経験。それでもみんな一生けんめいです。かけっこでは智子ちゃんがちょっぴり甘えて先生にだっこ。お遊戯ではたくさんのお友達といっしょ。五人は可愛いお遊戯を披露していました。さわやかな秋晴れのもと楽しい運動会でした。

## 新分野決まる

—第35回総選挙—

80年代前半の政治進路をかけた第35回総選挙は、10月7日投票、同午後7時から一斉に開票作業に入った。が、選挙の争点もなく、また台風の影響もあり、投票率は68%と史上2位の低率となった。野党第一党の社会党は飛鳥田委員長が東京一区でトップ当選を果たし、面目を保ったものの、解散時議席から更に後退した。これに対し、共産党は昭和47年総選挙の38を上回る39議席を確保、党史上最高の躍進ぶり、野党第三党にのしあがった。中道勢力は選挙協力が功を奏し、公明党が前回の議席の維持に成功、民社党も結党時の議席に迫る回復を示した。党内の混乱からブームも去り新自由クラブはわずか4議席と転落。社民連も2議席を確保したにとどまった。航空機疑惑の松野頼三氏は落選、有権者の厳しい審判が下った。保守回帰ムードに乗り、有利な選挙戦を展開すると見られた自民党は予想に反し伸び悩み、前回を下回る248議席。結党以来の惨敗に首相の進退問題にまで発展しそうな情勢。国会は「与野党伯仲」のまま80年代を迎えることになった。